番号	作品名	作家名	貸出先	展覧会名等・期間・備考
181	くるみを割る自画像	吉井　忠		
182	駅	松本　竣介		
183	曲	斎藤　正夫		
184	凝視（猫）	斎藤　清		
185	ショップガール・パリ	斎藤　清		
186	会津の冬（57）	斎藤　清		
187	水　浴	恩地孝四郎		
188	六月の風	川上　澄生		
189	路傍の小猫	藤森　静雄		
190	14のさくらんぼ	浜口　陽三		
191	春を待つ	福田豊四郎	茨城県近代美術館	「昭和戦前期の日本画展」
192	女其一	速水　御舟		1992. 2. 29～3. 29

第3節　展　示　事　業

常設展示室では4回の展示替え（版画は8回）と1期の特集展示を行い、企画展示室では近現代における国内外の多様な美術を7つの展覧会によって紹介した。

1　常　設　展

(1)　第　1　期　4日　9日～　6月30日
(2)　第　2　期　7月　2日～　9月23日
(3)　第　3　期　9月25日～12月20日
(4)　第　4　期　1月　5日～　4月　8日
(5)　常設展「特集」－日本画にみる人物像－
1月11日～1月27日
(6)　無料観覧日の実施　5月5日、9月15日、11月3日
(7)　常設展入場者数
25,911人（有料19,177人、無料6,734人）

2　企　画　展

展覧会名	会期	入場者数
栄光の「LIFE」展	3.4.13～5.26	10,777
東京国立近代美術館所蔵近代洋画の名作展	3.6.6～7.7	8,771
ホルスト・ヤンセン展	3.7.13～8.11	5,580
ベン・シャーン展	3.8 17～9.16	8,166
蠣崎波響展	3.9.29～10.27	5,615
ブカレスト国立美術館展	3.11.10～12.8	11,937
渡部菊二展	4.2.8～3.22	6,961

企画展入場者数
57,807人（有料52,182人・無料5,625人）

第4節　調査研究事業

各種の研修会ならびに協議会等に出席し、また、多岐にわたる調査研究をすすめながら、成果の蓄積と館の機能の充実を図った。その項目および概要は次のとおりである。

(1)　調査研究事項
①作　家　②作　品　③技　法　④美術史　⑤保　存
⑥教育普及　⑦展覧会　⑧運　営　⑨県内外の展示施設
⑩美術館利用者の動向　他

(2)　重点調査研究事項
①　勝田焦琴と福陽美術会
②　福島の美術運動と美術教育

第5節　普　及　事　業

美術の表現と鑑賞のよろこびをより深めるために、さまざまな視点による事業を行った。その概要は次のとおりである。

1　講演会の開催

(1)　定期講演会
①　「名画の秘密」　11月3日（80人入場）
講師　小谷野匡子　絵画修復家

(2)　企画展講演会
①　「近代洋画の流れ
－東京国立近代美術館所蔵品から－」
6月9日（120人入場）
講師　松本　透　東京国立近代美術館主任研究官
②　「ベン・シャーンの人と芸術」
9月8日（100人入場）
講師　長田　弘　詩人
③　「梁川桃源郷と蠣崎波響」10月10日（250人入場）
講師　井上研一郎　宮城学院女子短期大学助教授